

公益社団法人日本都市計画学会  
第52回学術研究論文発表会開催報告書

当学会では都市計画の普及・啓発を目的として、毎年学術研究論文発表会を開催しており、今年度は札幌・北海道大学で開催する運びとなりました。本発表会は、都市・地域づくりの現場の参考となる研究論文が多く発表されるとともに、都市計画に関連する分野の方々に活発な情報交換や交流を行っていただく場でもあり、北海道の地域活性化にも寄与することのできたものと考えています。以下のとおり、開催を報告いたします。

平成29年11月

公益社団法人日本都市計画学会北海道支部長  
第52回学術研究論文発表会実行委員会委員長  
西山徳明

1. 学術研究論文発表会

(1) 日付・会場

2017年11月11日（土曜日）・12日（日曜日）／北海道大学工学部情報科学研究科棟

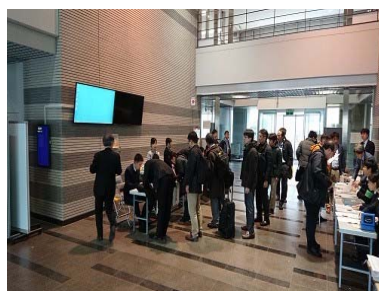
(2) 時間割

11月11日 09:40～12:00	研究発表	※会場毎に集合・開始
12:00～13:00	休憩	
13:00～15:00	研究発表	
15:00～17:30	ワークショップ・都市計画報告会	
18:30～20:00	懇親会	
11月12日 09:40～12:00	研究発表	
12:00～13:00	休憩	※学術委員会開催
13:00～15:40	研究発表	※会場毎に終了・解散

(3) 参加費・参加者 一般4,000円・320名、学生1,000円・101名、計421名

(4) 後援

一般社団法人日本建築学会北海道支部、公益社団法人土木学会北海道支部、公益社団法人日本造園学会北海道支部、一般社団法人日本計画行政学会北海道支部、特定非営利活動法人日本都市計画家協会北海道支部、北海道都市地域学会、北海道地域観光学会、北海道市長会、北海道町村会、北海道開発局、北海道、札幌市



発表会場風景

## 2. プレイベント・エクスカーショ

(1)日 付 2017年11月10日(金曜日)

(2)テーマ

地域産業今昔(小樽～余市を軸として、酒造り産業と地域、炭鉄港の歴史を探る)

(3)行 程

11時30分 新千歳空港(ANA到着口バス乗り場)発

13時00分 小樽駅集合・バスにて出発

車内にてNPO法人ワインクラスター代表阿部眞久氏から北海道のワイン文化についてご説明をいただきました。

14時00分～15時00分 OcciGabi(オチガビ)ワイナリー

稲垣常務より、ワインづくりと、ワイナリーの風景づくり、ワイナリーの紹介をいただきました。

15時00分～15時15分 ニッカウヰスキー工場へ移動

15時15分～16時30分 ニッカウヰスキー工場自由見学

16時35分～17時15分 小樽へ移動

車内にてNPO法人炭鉞の記憶推進事業団事務局長酒井裕司氏から、小樽と内陸部の石炭、製鉄産業へとつながる明治時代の北海道の産業の結びつき「炭鉄港物語」について説明をいただきました。

17時15分 ※希望者が小樽で途中下車

18時15分 札幌市中央区北2条西4丁目1 三井JPビル到着

(4)参加者 29名



エクスカーショ風景

## 3. 懇親会

(1)日付・会場

日 付:2017年11月11日(土曜日)開場18:00/開会18:30/閉会20:00

会 場:センチュリーロイヤルホテル 3階 エレガンス

(2)参加者

167名(来賓、学会役員委員・本部事務局、実行委員会、発表者・聴取者)

(3)次第

1. 開 会 小松正明 北海道支部副支部長

2. 開催支部挨拶 西山徳明 北海道支部支部長

3. 来賓挨拶

国土交通省北海道開発局事業振興部長 水島 徹治 様

北海道建設部まちづくり局長 岸 純太郎 様

札幌市まちづくり政策局都市計画担当局長 中田 雅幸 様

4. 乾 杯 横張 真 日本都市計画学会会長

～歓 談～<北海道の「食」「酒」のご紹介>

5. 郷土芸能披露 一般社団法人札幌大学ウレシパクラブによるアイヌ舞踊

(紹介：第52回学術研究論文発表会実行委員会 渡邊政義委員

／国土交通省北海道開発局事業振興部都市住宅課長)

～歓 談～

6. 次回開催校紹介 村木美貴様 学術委員会副委員長

7. 次回開催校挨拶 澤木昌典様 関西支部・大阪大学教授

8. 引き継ぎの式

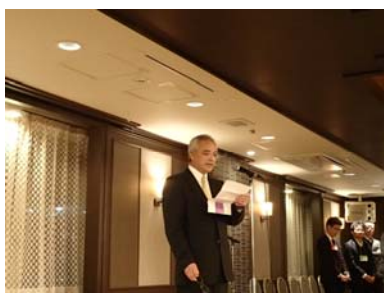
関西支部 小浦久子支部長／澤木昌典大阪大学教授

北海道支部 西山徳明支部長／高野伸栄北海道大学教授・副支部長

9. 閉 会 高野伸栄 北海道支部副支部長



会場風景



西山北海道支部長



北海道開発局水島事業振興部長



北海道岸まちづくり局長



札幌市中田都市計画担当局長



横張学会長

#### 4. 別添資料

別添 01：第52回学術研究論文発表会プログラム

別添 02：都市計画報告会ワークショッププログラム

以 上